

**HEAD REST STRUCTURE FOR AUTOMOBILE**

Patent number: JP11005493

Publication date: 1999-01-12

Inventor: ISHIZUKA TOMOMI

Applicant: IKEDA BUSSAN CO

Classification:

- International: **B60N2/48; B60R7/04; B60R21/055; B60N2/48; B60R7/04; B60R21/02; (IPC1-7): B60R7/04; B60N2/48; B60R21/055**

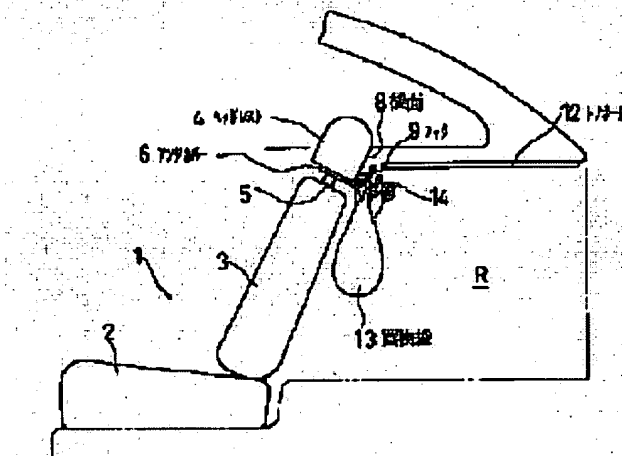
- european:

Application number: JP19970158785 19970616

Priority number(s): JP19970158785 19970616

**BEST AVAILABLE COPY****Report a data error here****Abstract of JP11005493**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To enable the fitting of a shopping bag or the like by integrally forming an under cover, which is fixed to a lower surface of the head rest, with a hook stood from a back surface of the head rest. **SOLUTION:** An under cover 6, which is fixed to a lower surface of a head rest 4, is integrally formed with a hook 9 stood from a back surface 8 of the head rest 4. A loop part 14 of a shopping bag 13 can be hooked on this hook 9. The shopping bag 13 hooked on the hook 9 is stabilized in the condition that the shopping bag 13 is suspended from the hook 9 by the weight of itself. Since a seat back 3 is inclined backward, the shopping bag 13 is hard to abut on the back surface of the seat back 3, and the movement of goods inside of the shopping bag 13 is constrained by the tensile force of the shopping bag 13 itself. Consequently, the shopping bag 13 is hard to be fallen and the goods inside of the shopping bag 13 is hard to move inside of the bag 13, and generation of breakdown and deformation of the goods is prevented.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-5493

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月12日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

B 6 0 R 7/04

B 6 0 R 7/04

S

B 6 0 N 2/48

B 6 0 N 2/48

B 6 0 R 21/055

B 6 0 R 21/055

A

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-158785

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月16日

(71) 出願人 000210089

池田物産株式会社

神奈川県綾瀬市小園771番地

(72) 発明者 石塚 友美

神奈川県綾瀬市小園771番地 池田物産株式会社内

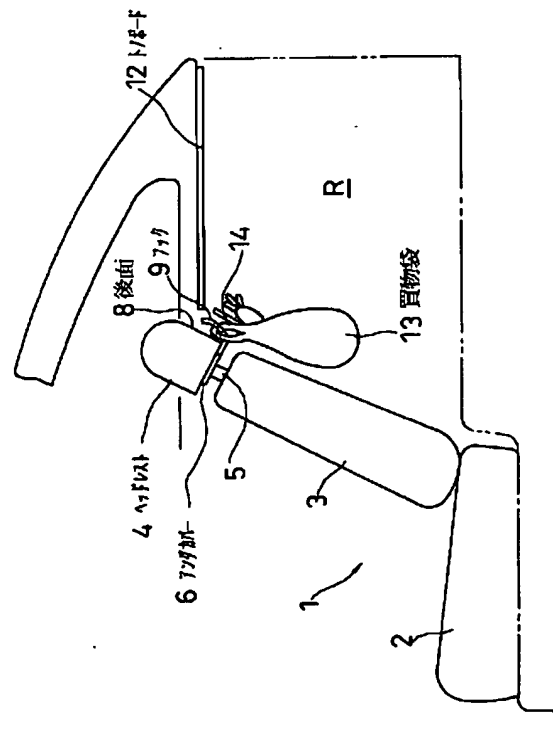
(74) 代理人 弁理士 三好 秀和 (外 8 名)

(54) 【発明の名称】 自動車のヘッドレスト構造

(57) 【要約】

【課題】 買物袋等を取付けることができる自動車のヘッドレスト構造を提供する。

【解決手段】 ヘッドレスト4の下面に固定されるアンダカバー6に、ヘッドレスト4の後面8側に立ち上がるフック9を一体形成した。従って、買物袋13等をフック9に引っ掛けることができ、買物袋13等並びに買物袋13等に入っている品物が安定する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヘッドレストの下面に固定されるアンダカバーに、ヘッドレストの後面側に立ち上がるフックを一体形成したことを特徴とする自動車のヘッドレスト構造。

【請求項2】 請求項1記載の自動車のヘッドレスト構造であって、フックの上端部とヘッドレストの後面との間隔の方が、フックの中間部とヘッドレストの後面との間隔よりも狭く設定されていることを特徴とする自動車のヘッドレスト構造。

【請求項3】 請求項1又は請求項2記載の自動車のヘッドレスト構造であって、フックの中間部が後側へ湾曲した形状であることを特徴とする自動車のヘッドレスト構造。

【請求項4】 請求項1～3のいずれか1項に記載の自動車のヘッドレスト構造であって、フックの大部分が、ラゲッジルームの上部に設置されるトノボード又はネットよりも下方に位置していることを特徴とする自動車のヘッドレスト構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、買物袋などを引っかけることができる自動車のヘッドレスト構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】自動車の室内において、品物を入れた買物袋は、シートの上に置かれる場合が多い。しかし、シートの上に置いただけでは不安定で、急ブレーキ等により、買物袋がシートからフロアに落ちて、内部の品物が破損するおそれがある。

【0003】また、シートから落ちないにしても、走行中の振動により、品物が買物袋の中で動きやすく、柔らかい物は形がくずれたりするおそれがある。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで、買物袋等を何らかの手段により、シートに安定した状態で取付けることが考えられる。傘や小物をシートに取付ける技術は、実開平1-87940号公報や、実開平2-270号公報のように、各種提案されているが、買物袋等をシートに取り付く部品に取付ける技術は、未だ提案されていない。

【0005】この発明は、このような従来の技術に着目してなされたもので、買物袋等を取付けることができる自動車のヘッドレスト構造を提供するものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、ヘッドレストの下面に固定されるアンダカバーに、ヘッドレストの後面側に立ち上がるフックを一体形成したものである。

【0007】請求項1記載の発明によれば、買物袋等をヘッドレストのアンダカバーに一体形成されたフックに引っ掛けることができるため、買物袋等並びに買物袋等に入っている品物が安定する。従って、買物袋等がフロアに落ちたり、買物袋等内の品物が袋内で動くことがないため、品物が破損したり、形がくずれたりすることはない。フックはアンダカバーに一体形成されたものであるため、部品点数及び作業工数が増加することもない。

【0008】請求項2記載の発明は、フックの上端部とヘッドレストの後面との間隔の方が、フックの中間部とヘッドレストの後面との間隔よりも狭く設定されている。

【0009】請求項2記載の発明によれば、フックの上端部の方が、フックの中間部よりも、ヘッドレストの後面に対する間隔が狭いため、いったんフックに引っ掛けた買物袋等は、仮に、走行中に上下方向での大きな振動が加わっても、フックから外れにくい。また、フックの中間部の間隔が大きく、フックに直接引っ掛かっている買物袋等のループ部が自由に動きやすくなっているため、ループ部が振じれたりすることはない。

【0010】請求項3記載の発明は、フックの中間部が後側へ湾曲した形状である。請求項3記載の発明によれば、フックの中間部が後側へ湾曲した形状であるため、フックに対して荷物が当たっても、その荷物を傷つけることがない。

【0011】請求項4記載の発明は、フックの大部分が、ラゲッジルームの上部に設置されるトノボード又はネットよりも下方に位置している。

【0012】請求項4記載の発明によれば、フックの大部分が、ラゲッジルームの上部に設置されるトノボード又はネットよりも下方に位置しているため、ラゲッジルーム側からフック及び買物袋等が見えず、見映えの点で優れる。

## 【0013】

【発明の実施の形態】以下、この発明の好適な実施形態を図1～図3に基づいて説明する。

【0014】符号1は、自動車のリヤシートで、シートクッション2とシートバック3とから成っている。シートバック3の上部には、ヘッドレスト4がステー5により上下動自在に支持されている。

【0015】ヘッドレスト4の下面には、ヘッドレスト4の表皮の末端処理のためのアンダカバー6がネジ7により固定されている。このアンダカバー6には、ヘッドレスト4の後面8側に立ち上がるフック9が一体形成されている。

【0016】このフック9は、中間部10が後側へ湾曲した形状をしており、その上端部11とヘッドレスト4の後面8との間隔L1の方が、中間部10と後面8との間隔L2よりも狭くなっている。

【0017】シートバック3の後方には、ラゲッジルー

ムRが形成されており、該ラゲッジルームRの上部には、トノボード（ネットでも良い）12が設置されている。このトノボード12は、ちょうどフック9の上端部11付近に位置する高さで、フック9は、このトノボード12により隠される。

【0018】ヘッドレスト4の後面8側に、このようなフック9が形成されているため、このフック9に買物袋13のループ部14を引っ掛けることができる。

【0019】フック9に引っ掛けられた買物袋13は、自身の重さにより、フック9にぶら下がった状態となり安定する。

【0020】しかも、シートバック3が後傾していることから、シートバック3の背面に当たりにくく、買物袋13内の品物は買物袋13の張力により動きが拘束される。

【0021】従って、買物袋13がフロアに落ちたり、買物袋13内の品物が袋内で動くことがないため、品物が破損したり、形がくずれたりすることはない。

【0022】また、フック9の上端部11の間隔L1の方が、中間部10の間隔L2よりも狭いため、いったんフック9に引っ掛けた買物袋13は、走行中に上下方向での大きな振動が加わっても、フック9から外れにくい。

【0023】更に、フック9の中間部10の間隔L2が大きく確保されているため、フック9に直接引っ掛かっている買物袋13のループ部14が自由に動き易くなり、ループ部14が振じれたりすることはない。

【0024】そして、フック9の中間部10が後側へ湾曲した形状になっているため、ラゲッジルームR内の荷物がフック9に当たっても、その荷物を傷つけることがない。

【0025】また、フック9は、アンダカバー6に一体形成されたものであるため、従来構造に比べて、部品点数及び作業工数が増加することはない。

【0026】尚、この実施形態では、フック9に引っ掛けるものとして買物袋13を例にしたが、これに限定されず、ループ部14に相当する部分を有しており、フック9に引っ掛けることが可能なものは何でも良い。

【0027】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、買物袋等

をヘッドレストのアンダカバーに一体形成されたフックに引っ掛けることができるため、買物袋等並びに買物袋等に入っている品物が安定する。従って、買物袋等がフロアに落ちたり、買物袋等内の品物が袋内で動くことがないため、品物が破損したり、形がくずれたりすることはない。フックはアンダカバーに一体形成されたものであるため、部品点数及び作業工数が増加することもない。

【0028】請求項2記載の発明によれば、フックの上端部の方が、フックの中間部よりも、ヘッドレストの後面に対する間隔が狭いため、いったんフックに引っ掛けた買物袋等は、仮に、走行中に上下方向での大きな振動が加わっても、フックから外れにくい。また、フックの中間部の間隔が大きく、フックに直接引っ掛かっている買物袋等のループ部が自由に動きやすくなっているため、ループ部が振じれたりすることはない。

【0029】請求項3記載の発明によれば、フックの中間部が後側へ湾曲した形状であるため、フックに対して荷物が当たっても、その荷物を傷つけることがない。

【0030】請求項4記載の発明によれば、フックの大部分が、ラゲッジルームの上部に設置されるトノボード又はネットよりも下方に位置しているため、ラゲッジルーム側からフック及び買物袋等が見えず、見映えの点で優れる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施形態に係る自動車のヘッドレスト構造を示す側面図。

【図2】ヘッドレストを横から見た斜視図。

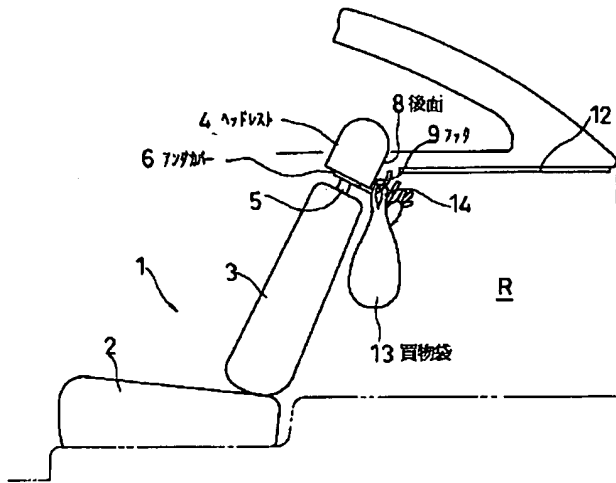
【図3】ヘッドレストを斜め下方から見た斜視図。

【符号の説明】

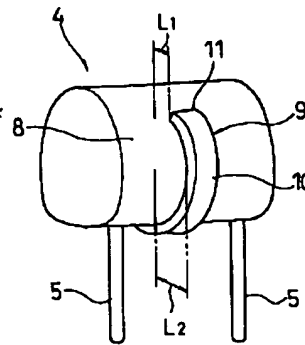
- 4 ヘッドレスト
- 6 アンダカバー
- 8 後面
- 9 フック
- 10 中間部
- 11 上端部
- 12 トノボード
- 13 買物袋
- L1、L2 間隔
- R ラゲッジルーム

BEST AVAILABLE COPY

【図1】



【図2】



【図3】

